

圏域	神戸圏域
会議	地域医療構想調整会議 平成28年度 第2回
日時	平成29年3月15日(水)
場所	神戸市医師会館4階 大ホール
議長	置塩会長(神戸市医師会長) 司会:神戸市保健福祉局健康部長 廣瀬 万希子
出席者	別紙出席者名簿のとおり
議事次第概要	1 平成27年度病床機能報告(確定値)及び平成28年度病床機能報告(速報値)について 2 病床機能転換推進事業について 3 兵庫県保健医療計画の改定について
内容	1 平成27、28年度病床機能報告結果について説明した。 2 病床機能転換推進事業(兵庫県)の概要、補助要件等について説明した。 【意見】 「高度急性期」は過剰とされているが、病床機能の定義が曖昧なままでは、高度急性期への転換が補助対象とならない等、非常に問題となると思うので、もう少ししっかりお願いしたい。 【質疑応答】 (委員)地域包括ケア病棟がどの病床機能にあたるのか、何か線引きはあるのか (事務局)国の報告マニュアルにおいても急性期機能と回復期機能のどちらにも地域包括ケア病棟入院料が入っており、どちらでも誤りではない。各病院の、実際の医療内容がどちらに近いかで判断することになる。 (委員)補助を受けて病床機能を転換後、10年維持することが要件となっているが、できなければ補助金を返還することになるのか? 閉院する場合はどうか? (兵庫県)国庫を使った事業であることから、国庫の一般的な基準を準用した。しかし、10年の間に医療事業が変わる可能性もあり、急性期に戻すなどの必要が出てきた場合は、県と圏域調整会議で相談し一件ずつ判断していきたい。
協議が調った事項	
次回以降の予定	